



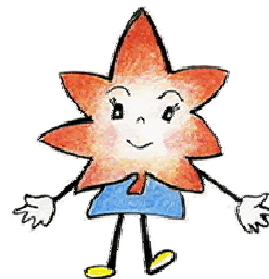
リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2011 in 広島 (尾道)

日時：2011年9月18日(日)～19日(月)

場所：広島県立びんご運動公園 (尾道市)

趣意書

企画書



リレーフォーライフ広島(尾道)実行委員会

ホームページ：<http://rfl-hiroshima.jp/>

実行委員会連絡先

実行委員長 浜中和子

尾道事務所

〒722-0022 尾道市栗原町 5901-1

TEL 0848-24-2413

FAX 0848-24-2423

Email : info@rfl-hiroshima.jp

●● 趣 意 書 ●●

がん患者サポートキャンペーン★がんと向き合う 24 時間チャリティイベント
ご協力・ご参加をお願いいたします

2011 年 9 月 18 日 (日) 13:00~9 月 19 (月) 13:00、24 時間チャリティイベント、<リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2011 in 広島(尾道)>を実施します。

がん患者は年々増え続けており、生涯で誰もがかかり得る身近な疾患です。がんを恐れるのではなく、正しい知識を持ち、検診受診で早期発見に努めることが大切です。がんによる死亡率が増え続けているという日本の状況を、何とか改善しなければなりません。

リレーフォーライフは、がんと闘う人たちの勇気を称えて、24 時間歩き続けるリレーウォークです。がんで亡くなった方を偲ぶ夜間のルミナリエのほか、音楽ステージや踊り、パフォーマンスなど楽しいイベントで盛り上がります。患者、家族、医師、友人、市民が手を携えて創り上げる、リレーフォーライフに、ご協力・ご参加いただけますよう、お願いいたします。

<リレーフォーライフ広島実行委員会>は、増え続けるがんに社会的な関心を喚起し、がんに関する正しい知識と対応の啓発を目指して“広島でもぜひリレーフォーライフを”との熱い思いで市民たちが立ち上げた活動です。がん患者、家族、医療従事者、活動に賛同し支援する市民が 2009 年 4 月に実行委員会を立ち上げました。2009 年 9 月第 1 回リレーフォーライフ広島を旧広島市民球場で開催、2010 年 9 月第 2 回リレーフォーライフ広島を広島女学院中学・高校グラウンドで開催し、大成功の内に終了しました。

<リレーフォーライフの始まり：『それは、一人の一風変わった行動から』>

1985 年にアメリカで一人の医師が患者を応援するための活動として始まりました。マラソンが得意なその医師は、一人で大学の陸上トラックを 24 時間走り続け、友人たちに寄付を募りました。「24 時間がんと闘っている患者を応援する」という趣旨に多くの人が賛同し、翌年からは 24 時間歩きながらリレーを繋ぐ形式に発展して参加者は増え続けました。これがリレーフォーライフの原点です。

今では全米 5,000 ヶ所以上、世界 20 ヶ国で開かれています。そこで集まった寄付金は、患者相談や情報提供、がん研究への助成などに役立てられています。日本では、2006 年に初めて茨城県つくば市で開催され、全国へリレーフォーライフの輪が広がっています。

2006 年	1 ヶ所	茨城県つくば市
2007 年	2 ヶ所	兵庫県芦屋市、東京都
2008 年	6 ヶ所	北海道室蘭市、兵庫県芦屋市、神奈川県横浜市、大分県、徳島県、高知県
2009 年	14 ヶ所	広島県、北海道、宮城県、埼玉県、静岡県、神奈川県、岐阜県、兵庫県、高知県、徳島県、福岡県、大分県、沖縄県
2010 年	20 ヶ所	広島県、北海道、宮城県、福島県、埼玉県、茨城県、千葉県、神奈川県、愛知県、静岡県、兵庫県、愛媛県、徳島県、高知県、福岡県、大分県、沖縄県など

2011 年 3 月 リレーフォーライフ広島(尾道) 実行委員会



●● 企 画 書 ●●

1 事業名： 《リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2011 in 広島(尾道)》

2 開催日時： 2011年 9月18日(日) 13:00~9月19日(月) 13:00

3 場 所： 広島県立びんご運動公園 (〒722-0022 広島県尾道市栗原町997)

4 目 的： ①サバイバー、ケアギバー(家族、遺族、支援者)を讃え、支える
②がんで亡くなった方の追悼
③一般市民向けのがん早期発見の啓発活動
④がん患者支援活動のための募金、寄付金を集める

5 主 催： リレーフォーライフ広島(尾道)実行委員会 (責任者 浜中 和子)
公益財団法人日本対がん協会

6 共 催： 広島県、尾道市、財団法人広島県健康福祉センター、
公益財団法人 中国労働衛生協会 尾道検診所

7 後 援：

厚生労働省、福山市、三原市、府中市、東広島市、尾道市社会福祉協議会、(社)広島県医師会、(社)尾道市医師会、(社)広島県歯科医師会、(社)尾道市歯科医師会、尾道大学、(社)広島県薬剤師会、(社)広島県看護協会、(社)広島県臨床検査技師会、広島県細胞検査士会、(財)広島県女性会議、(社)広島県栄養士会、(社)広島県作業療法士会、(公社)広島県理学療法士会、広島県言語聴覚士会、中国新聞社、朝日新聞広島総局、読売新聞広島総局、産経新聞社中・四国総局、(社)中国新聞社会事業団、NHK 広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅーピー、広島県商工会連合会、尾道商工会議所、(社)尾道青年会議所、(財)広島国際文化財団、(財)広島観光コンベンションビューロー、ふれあいチャンネル、山陽日日新聞社、尾道ケーブルテレビ、広島赤十字血液センター、「がん検診へ行こうよ」推進会議事務局

8 連絡先： リレーフォーライフ広島(尾道)実行委員会
〒722-0022 尾道市栗原町5901-1
Tel. 0848-24-2413 Fax. 0848-24-2423
mail : info@rfl-hiroshima.jp

9 イベント概要：

- ①患者、家族、一般参加者がチームを組んでリレー・ウォークを行うことを中心とする。
- ②サバイバーズ・ラップ
がんと闘う人(サバイバー)が歩き、周囲がそれを讃える。
- ③ルミナリエ
メッセージを託したキャンドルに火を灯して、祈りを捧げる。

④がん関連の講演

専門医によるがん関連の講演でがんについて勉強する。

⑤ステージ

活動に賛同するプロ、アマさまざまな団体が、音楽、踊り、太鼓、等でイベントを盛上げる。

⑥禁煙教室、絵本教室

禁煙の重要性や、次世代へ平和と命の大切さを伝える啓発活動。

⑦マンモグラフィ検診車による、乳がん検診

一般市民へ乳がん早期発見をアピールする。

⑧屋台、バザー等

チャリティ・バザー等を行い、収益金をがん患者支援活動へ充てる。

10 想定イベント規模

参加者： 約 2,000 人 中国地方を中心に、広く参加者を募る予定。

11 寄 付： 公益法人日本対がん協会へ、収支剰余金を寄付

公益法人日本対がん協会は、がんの早期発見、早期治療、生活習慣の改善によって、がんの撲滅をめざす趣旨で 1958 年に設立。 <http://www.jcancer.jp/>

主な活動内容は、①がんの知識の普及、啓発／がん研究

②がん検診の推進

③患者の悩みをサポート

12 事務局：

リレーフォーライフ広島(尾道)実行委員会

尾道事務所 〒722-0022 尾道市栗原町 5901-1

Tel : 0848-24-2413 Fax : 0848-24-2423

mail : info@rfl-hiroshima.jp

ホームページ： <http://rfl-hiroshima.jp/>